

2 教員採用選考について

1 趣旨

愛知県では、「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とした教育を進めるため、次のような教師像を求めている。

愛知が
求める教師像

- 1 広い教養と豊富な専門的知識・技能を備えた人
- 2 児童生徒に愛情をもち、教育に情熱と使命感をもつ人
- 3 高い倫理観をもち、円満で調和のとれた人
- 4 実行力に富み、粘り強さがある人
- 5 明るく、心身ともに健康な人
- 6 組織の一員としての自覚や協調性がある人

2 選考の種類【令和4年度（2022年度）採用選考試験】

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| ① 一般選考 | |
| ② 英語有資格者特別選考 | [第2次試験の実技試験免除] |
| ③ 昨年度の補欠者に対する特別選考 | [第1次試験の教職・教養免除] |
| ④ 元教諭・講師経験者特別選考 | [第1次試験の教職・教養免除] |
| ⑤ 現職教諭特別選考 | [第1次試験の教職・教養免除] |
| ⑥ 教職大学院修了見込者特別選考 | [第1次試験の教職・教養免除] |
| ⑦ 大学院進学による採用辞退者に対する特別選考 | [第2次試験の個人面接のみ] |
| ⑧ 介護理由退職者特別選考 | [第2次試験の個人面接及び
介護理由退職者特別選考論文のみ] |

3 第1次試験加点項目

- ① 司書教諭
- ② 大学推薦
- ③ 外国語（ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピノ（タガログ）語）堪能者
- ④ 社会人
- ⑤ 特別支援教育
- ⑥ 小学校英語

4 障害者選考（別枠選考）

- ① 障害者選考
- ② 障害者大学推薦選考

5 採用選考試験の日程【令和4年度（2022年度）採用選考試験】

受験案内・願書配布	4月23日（金）～
願書受付	4月26日（月）～5月12日（水）
受験票送付	5月28日（金）
第1次試験	7月17日（土）
第1次試験結果通知	8月6日（金）
第2次試験	8月18日（水）・8月19日（木）
第2次試験結果通知	9月27日（月）

6 採用選考試験の実施状況【令和4年度（2022年度）採用選考試験】

区分教科（科目）	募集数	受験者 A	合格者 B	補欠者	倍率 A/B	区分教科（科目）	募集数	受験者 A	合格者 B	補欠者	倍率 A/B	
小学校教諭	850	2,166	850	120	2.5	国語	32	150	32	8	4.7	
中学校教諭	国語	56	164	56	15	2.9	地理歴史	19	178	19	6	9.4
	社会	43	233	43	20	5.4	公民	6	55	6	1	9.2
	数学	56	165	56	14	2.9	数学	14	227	14	7	16.2
	理科	55	91	55	16	1.7	理科	12	189	12	6	15.8
	音楽	23	111	23	6	4.8	音楽	1	19	1	1	19.0
	美術	18	56	18	6	3.1	美術	1	25	1	1	25.0
	保健体育	37	502	37	8	13.6	保健体育	28	270	28	5	9.6
	技術	15	22	15	2	1.5	家庭	8	32	8	1	4.0
	家庭	15	29	15	2	1.9	英語	26	133	26	8	5.1
	英語	62	196	62	25	3.2	商業	8	53	8	1	6.6
小計	380	1,569	380	114	4.1	工業	22	41	22	1	1.9	
特別支援学校教諭	80	299	80	17	3.7	農業	9	26	9	2	2.9	
小中学校養護教諭	45	386	45	7	8.6	看護	1	1	1	0	1.0	
県立学校養護教諭	5	58	5	2	11.6	情報	10	32	10	2	3.2	
栄養教諭	10	96	10	3	9.6	福祉	1	9	1	0	9.0	
						水産	2	3	2	0	1.5	
						小計	200	1,443	200	50	7.2	

合計	1,570	6,017	1,570	313	3.8
----	-------	-------	-------	-----	-----

7 昨年度からの変更点

(1) 主な変更点

- ・第2次試験での筆記試験、集団面接、集団討議及び適性検査（クレペリン検査）を廃止した。
- ・第1次試験加点項目を新設した。
- ・個人面接を1人につき2回実施した。

(2) 変更したことによるメリット

受験者側

- ・筆記試験を第1次試験のみに変更したことで、受験者の負担が軽減した。
- ・所有する資格や経験に応じた加点申請が可能となった。

運営側

- ・第1次試験加点項目の新設により、適性を有する多様な人材の確保が可能となった。
- ・個人面接を1人につき2回実施することで、より人物重視の選考を行うことができた。

8 次年度に向けて

採用選考試験の出願について、電子申請で行うことができるように調整を進めている。また、本年度の反省等を踏まえ、より良い採用試験になるよう努めていきたい。

9 今後に向けて（中長期的視野で）

課題 志願者数減少への対応

【現状】

- ・教員志望者が減少し続けている。大学新卒志願者は増加した。

	志願者数	前年度比	大学新卒志願者数	前年度比
2022年度採用選考試験	6,372名	▲149名	2,447名	142名
2021年度採用選考試験	6,521名	▲235名	2,305名	▲15名
2020年度採用選考試験	6,756名	▲716名	2,320名	▲307名
平成31年度採用選考試験	7,472名	▲316名	2,627名	▲190名
平成30年度採用選考試験	7,788名	▲377名	2,817名	▲225名

- ・教育実習生は減少傾向が続いてきたが、小中学校については、本年度は昨年度に比べて100名以上増加している。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小中学校	2,289	2,198	2,115	2,113	2,051	2008	2120
県立学校	889	876	829	818	707	708	707
合計	3,178	3,074	2,944	2,931	2,758	2716	2827
前年度比	▲115	▲104	▲130	▲14	▲173	▲42	111

- ◎ 本年度から、志願者数増加を目的として、教員志望者にとって「より受験しやすい試験とする」ために、2次試験での筆記試験、集団面接、集団討議及び適性検査（クレペリン）の廃止など試験内容の見直しを行った。志願者は昨年度に続いて減少したが、大学新卒志願者数や教育実習生数は増加し、大学生の志願増の傾向が見られた。

本年度の反省等を踏まえ、より良い採用試験になるよう努めていきたい。